

学校法人 尚綱学院 120年の歩み

SHOKEI GAKUIN 1890-2012

西暦(和暦)

学校法人 尚綱学院関係事項

1890(明23)

7月 第1回衆議院議員
総選挙
10月 教育勸語を發布

8月 L・アデーレ・フィリップス来仙

9月 ラビニア・ミード来仙

ミード、フィリップス、ファイフが家塾を開く



1891(明治24)年当時の家塾
中央がラビニア・ミードとネリー・E・ファイフ



新坂通最初の校舎
(現在の宮城県知事公館)

1892(明25)

9月 尚綱女学会開校式(普通科と聖書科を設ける)
創立者ミード



創立者ミード

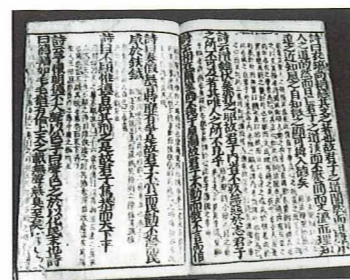
「尚綱女学会」の開校

1890(明治23)年、米国バプテスト派婦人伝道協会から派遣されたミードを初めとする女性宣教師は家塾を開き、キリスト教教育を始めた。その後、1892(明治25)年9月、キリスト教の信仰と女性の教養を授ける普通科と伝道婦人養成のための聖書科をそなえた生徒数9名からなる「尚綱女学会」を発足。校名となった「尚綱」は中国の「礼記」の編章である「中庸」の一節から選ばれたものである。また、建学の精神をあらわす聖句は、プゼルによって新約聖書「ペトロの手紙一」第3章3節・4節が校名として選ばれた。

11月 アニー・S・プゼル来仙



20代の頃の
プゼル



中庸

西暦(和暦)

学校法人 尚綱学院関係事項

1893(明26)

2月 日ノ本学園創立

9月 中島丁21番地(現在広瀬町9番1号)に移転、宣教師館の一部を校舎として使用



1897(明治30)年のバイブルクラス

バイブルクラス

1893(明治26)年、プゼルは、当時の二高生の飯塚啓(後の学習院院長)の懇望で英語による聖書研究を始めた。このクラスは次第に人数を増やし、その書齋は「テレストリアルパラダイス(地上天国)」と呼ばれ、大正デモクラシーの旗手となった吉野作造や内ヶ崎作三郎、島地雷夢、栗原基、小西重直、結城豊太郎、小山東助など多くの逸材が育っていった。島地は本願寺派の勤学島地黙雷の衣鉢を継ぐべき者であったので、その改宗は人々を驚かせた。バイブルクラスは1919(大正8)年まで続いた。

1895(明28)

5月 三陸干渉

6月 第1回卒業式(於 仙台浸礼教会
(現仙台ホサナ教会))

卒業生 中目キヨシ1名(普通科)



第1回卒業生 中目キヨシとプゼル



当時の仙台浸礼教会(現在の仙台ホサナ教会)

1896(明29)

6月 三陸人津波

1月 中島丁27番地に校舎及び寄宿舎(エラ・オー・パトリックホーム)落成
29日献堂式



創建当初のエラ・オー・パトリックホーム

エラ・オー・パトリックホーム

1896(明治29)年に竣工した時には、「大きな発展であって、驚異的となった」とプゼル先生傳(栗原基著)に記されている。由来となったエラ・オー・パトリック女史は、生涯のほとんどを病床で過ごしたが、キリスト教の活動に力を注ぎ、短いながらも美徳に満ちあふれた生涯を過ごした。

彼女の死後、彼女の遺志を受け継いだ家族からの多額の寄付を元に、尚綱女学会に新校舎が建築された。かくしてこの校舎は「エラ・オー・パトリック記念館(ホーム)」と命名された。



エラ・オー・パトリック女史

1897(明30)

1月 「河北新報」創刊

1899(明32)

2月 高等女学校令公布
8月 私立学校令公布

11月 私立学校令により正式に設立認可
校名を「私立尚綱女学校」とする
プゼル校長就任
認可の日11月24日を創立記念日と定める

「尚綱女学校」設立認可を受ける

1899(明治32)年11月24日「私立学校設立認可願」が通り、尚綱女学校は宮城県知事より設立の認可を受けた。創設者はミードとプゼル。初代校長にはプゼルが就任した。この日を記念し、本学院の創立記念日に定めた。小さな私塾として始まった学校が4年制の女学校として認められたのである。